

火山洞窟 神秘の世界

大阪経法大・沢教授が写真展

世界中の洞窟を探検、研究している大阪経済法科大の沢勲教授(六八)が、三十年近く撮り続けてきた火山洞窟の写真展が十四日から、八尾市の同大図書館で始まった。展示数は約百六十枚。学術的に貴重というだけでなく、何万年にもわたって作り上げられてきた神秘的な世界が、訪れた人たちの目を引いている。

同大図書館一階のロビーに並べられたパネル作品は、A3判サイズで約四十点。また、沢教授が国内外の洞窟を延べ二百四十回以上も巡り、撮り続けてきた写真百六十三枚を形態別と国別に飾っている。

四十二万年前、十九万年前、三万五千年前と三度にわたって形成された韓国・萬丈窟にある三段層の溶岩橋や、ハワイのカズムラ洞窟にある世界最大級の溶岩つららなどを形態別に紹介。

さらに日韓米露の四カ国を中心に、何十万年もかかって形成されてきた

各国の火山洞窟も紹介しており、太古の地球や動物の胎内を思わせるような神秘的な様子を楽しむことができる。

本来は半導体研究が専門の沢教授。小学一年のときに初めて探検して洞窟に初めて探検して以来、すっかり魅せられているという。「洞窟の中は五感が研ぎ澄まされ、音や気温、においなどがくっきりと頭に話しかけてくるよう」と沢教授。どの写真からも、常に一五度前後というひんやり

洞窟の写真展を開催している沢教授



りと伝わってくる。沢教授は「地球から見れば、人間なんてちっぽけな存在。洞窟にはそんな宇宙を感じる。子供たちにも神秘の世界に触れてもらいたい」と話している。会期は六月までを予定

定。近鉄大阪線「河内山簗山駅」からスクールバス本駅「または奈良線「瓢」スで。

産経新聞

平成17年(2005)日刊22391号

3|15 [火]

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞大阪本社 2005
〒530-8277 大阪市北区梅田2-4-9
☎ 大阪(06)6343-1221(大代表)